

ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄

【春休み企画・開催レポート】

未来の海を守る「瀬良垣島・クマノミ育成プロジェクト」SDGs イベント開催
～沖縄科学技術大学院大学（OIST）監修 科学と観光が連携する海洋保全プログラム～



ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄（所在地：沖縄県恩納村）では、2026年3月21日（土）、春休み企画として小学生と保護者を対象とした無料SDGsイベント「瀬良垣島・クマノミ育成プロジェクト」を開催しました。沖縄科学技術大学院大学（以下、OIST）海洋気候変動ユニットの監修のもと、午前・午後の二部制で計5組（小学生5名・保護者5名）をお迎えし、研究施設の見学、レクチャー、クマノミ育成区域周辺でのシュノーケリング体験を通じて、海の豊かさと保全の大切さを学ぶ充実した一日となりました。

午前・午後各回とも、まずはホテル近隣にあるOISTの臨海研究施設「OIST マリン・サイエンス・ステーション」へ移動し、OIST担当者によるレクチャーとツアーを実施しました。研究室の水槽では、瀬良垣島周辺海域への放流を目指して育成中のクマノミの稚魚を間近で観察。子どもたちは水槽に顔を近づけ、クマノミの姿を食い入るように観察していました。

OIST 海洋気候変動ユニットのルカス・フランカ・フルタード氏をはじめとする研究スタッフが、クマノミの生態や孵化・育成・放流のプロセス、また海水温上昇や二酸化炭素濃度の変化が海洋生物に与える影響について、又、関連する海洋生物について子どもたちの目線に合わせわかりやすく解説。国際色豊かな環境の中で参加者全員が学びを深めました。

今回、イベントに協力をしていただいたフルタード氏からは、「本プロジェクトは、クマノミとイソギンチャクが持つ興味深い共



生関係、そして海洋生態系を守ることの重要性について、多くの方に理解を深めていただくことを目的としています。子どもたちやご家族の皆さまにご参加いただくことで、海の生きものへの好奇心を育み、未来の世代が海を大切に思う心を育てるきっかけとなることを期待しています。」

———沖縄科学技術大学院大学（OIST）海洋気候変動ユニット
飼育技術員（Husbandry Technician）
ルカス・フランカ・フルタード氏



とのコメントをいただきました。

子どもたちの関心を集めたのが、クマノミとイソギンチャクの「共生」の仕組みでした。ほかの魚には有害なイソギンチャクの触手をクマノミだけが無害にやり過ごせること、そしてイソギンチャクもクマノミがいることで天敵から守られるという相互依存の関係は、映画のキャラクターで親しんでいたクマノミの本当の姿として子どもたちの新たな学びとなった様子でした。

今回の取り組みにおける重要なポイントは、クマノミの稚魚を単体で放流するのではなく、放流前に人工で育成されたイソギンチャクを「家」として認識させ、研究施設内で共生関係を確立させてから海へ戻すという、一歩踏み込んだ手法を採用していることです。



通常、放流直後の稚魚は外敵に襲われるリスクが非常に高いですが、あらかじめイソギンチャクを住み家として定着させることで、野生下での生存率を飛躍的に高めることが期待されています。科学的なモニタリングに基づき、クマノミが自立して自然のサイクルへ戻るまでを徹底して見守る、より精度の高い海洋保全プログラムへと進化した取り組みです。



「OIST マリン・サイエンス・ステーション」でのレクチャーの後には、瀬良垣島からクマノミ育成区域周辺の海へ出発。レジャーとしてのシュノーケリングとは異なり、研究活動の成果に触れる学びのプログラムとして経験豊富なインストラクターの案内のもと、実際に放流されたクマノミが生育している海域を泳ぎながら、研究室で学んだ知識がリアルな体験と結びつく生きた海の生態系を体感いただきました。

■ホテル担当者コメント

ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄は、瀬良垣島という唯一無二の自然環境を次世代へ引き継ぐ責任を持ち続けています。今回はご招待イベントという形式で、子どもたちの好奇心にあふれた表情で間近で見ることができ、このプロジェクトを続けてきた意義を改めて実感しました。OIST とのパートナーシップをさらに深めながら、科学と観光が連携したサステナブルなリゾート体験を今後も提供してまいります。そして、「元気な海」を維持できるよう励んでまいります。



ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄
ウェルネス&スパ 部長 花俣 峻介

■自然学習プログラム

「クマノミと瀬良垣島の海を学ぼう」について

今回の春休み企画として開催した SDGs イベントの基盤となる自然学習プログラム「クマノミと瀬良垣島の海を学ぼう」は、宿泊ゲスト向けに通年提供しています。

クマノミの保護・育成背景や OIST 海洋気候変動ユニットの研究内容、SDGs 目標「海の豊かさを守ろう」をテーマにしたレクチャーとシュノーケリング体験を組み合わせた 75 分のプログラムで、初心者の方や子どもから大人まで安心してご参加いただけます。

本プログラムの売上の一部は、将来のクマノミ育成活動へと還元されます



所要時間：75 分

定員：1～8 名

料金：子供（6-11 歳）8,000 円／大人（12 歳～）10,000 円 ※表示料金は、税込・サービス料 15%別

■未来の海を守る「瀬良垣島・クマノミ育成プロジェクト」SDGs イベント概要：

【午前の部】【午後の部】 共通

9:00/13:00 ロビー | 受付

9:15/13:15 OIST マリン・サイエンス・ステーションへ移動

・「クマノミ育成プロジェクト」座学レクチャー

・OIST 担当者による ツアー実施（英語での案内になるため通訳あり）

10:45/14:45 ホテルに戻り、着替え

11:00/15:00 クマノミ育成区域周辺でのマリンアクティビティ体験
（シュノーケリングツアー 30 分程度）

12:00/16:00 終了

問い合わせ：瀬良垣島マリン&アクティビティクラブ直通電話（098-960-4287）または、
seragaki.wellness@hyatt.com

◆沖縄科学技術大学院大学（OIST）と海洋気候変動ユニットについて

本プロジェクトは、OIST のティモシー・ラバシ教授率いる海洋気候変動ユニットから、科学的知見および技術的支援を受けて行います。OIST は、「世界の科学技術の発展に寄与すること」に加え、「沖縄の自立的発展に貢献すること」をミッションとしています。恩納村内にメインキャンパスを構える OIST は、瀬良垣区内に「OIST マリン・サイエンス・ステーション」という臨海研究施設を持ち、海洋に関わる様々な実験・研究を行っています。海洋気候変動ユニットは、マリン・サイエンス・ステーションの水槽内でクマノミなどを飼育し、海水温や二酸化炭素濃度などの環境の変化に対する海洋生物の適応性、順応性を研究対象の一つとしています。

詳細：<https://www.oist.jp/ja/research/research-units/macc/seragaki-island-clownfish-restoration-project>



<ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄>

ホテルが位置する恩納村は沖縄県でも有数の素晴らしいリゾートエリアの一つであり、新しい冒険が詰まっています。世界自然遺産に登録されているやんばるへのアクセスも容易で、多くの自然や地元の文化体験が楽しめます。ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄は、沖縄本島屈指のリゾートである恩納村の美しい海に囲まれた瀬良垣島と、沖縄本島が一本の橋で繋がりひとつのリゾートを構成する、ユニークなロケーションを特徴としたリゾートホテルで「元気になるホテル」として、身体と心に元気が満たされるリゾート体験を提供し続け、今後も魅力あるデスティネーションリゾートとして沖縄観光に貢献してまいります。



ハイアット リージェンシーについて

ハイアット リージェンシーは、世界 40 カ国以上で 230 軒以上のホテルとリゾートを展開するグローバルコレクションです。広大なリゾートから都会のシティセンターまで、多様なポートフォリオの深さと幅広さはブランドの進化を重んじる精神の証。50 年以上にわたり、ハイアット リージェンシーは斬新な視点と豊かな体験を推進してきました。その先進的な哲学は、人々を結び付け、コミュニティの精神を育む魅力的な空間をお客様に提供しています。ホスピタリティーの原点として、ハイアット リージェンシーのホテルやリゾートは、常にオープンマインドとオープンハートでお客様をお迎えし、忘れられないセレブレーション、くつろぎのひととき、卓越した美食体験、専門スタッフによるミーティングやテクノロジーを駆使したコラボレーションをお届けします。ハイアット リージェンシーは、洞察力に富んだケアを誇りに、世代を超えてあらゆる国と文化の人々を歓迎します。詳しくは hyattregency.com をご覧ください。Facebook、X、Instagram で、@HyattRegency をフォローしてください。ハッシュタグ「#HyattRegency」を付けた写真の投稿もお待ちしております。